



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 ヤマハ発動機株式会社
コード番号 7272 URL <http://global.yamaha-motor.com/jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 弘之
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 石井 武夫 TEL 0538-32-1103
四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,047,882	15.2	42,168	84.9	42,845	52.8	26,340	84.2
24年12月期第3四半期	909,473	△7.7	22,804	△62.4	28,046	△58.7	14,302	△64.2

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 54,357百万円 (229.4%) 24年12月期第3四半期 16,500百万円 (△27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	75.45	75.45
24年12月期第3四半期	40.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,059,230	386,515	33.1
24年12月期	962,329	341,561	32.0

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 350,301百万円 24年12月期 307,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年12月期	—	10.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期の配当予想は、下記の通期連結業績予想より配当性向(連結)20%を基準に算出しています。

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450,000	20.1	55,000	195.7	59,000	116.4	34,000	354.0	97.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 有形固定資産の減価償却方法について、従来、当社及び国内子会社は主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より主として定額法に変更しています。これは「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するため、「会計基準等の改正に伴う会計方針の変更以外の会計方針の変更」と「会計上の見積りの変更」を「有」にしています。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	349,784,784株	24年12月期	349,757,784株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	667,854株	24年12月期	665,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	349,104,850株	24年12月期3Q	349,094,356株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等のリスク、不確実性等の要因により、大きく異なる可能性があります。リスク、不確実性等の要因に関する詳細は、当社の第78期有価証券報告書（平成25年3月27日提出）に記載していますのでご参照下さい。また、業績予想に関しては添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(2) 当社は以下のとおり四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料などは、開催後速やかに当社ホームページに掲載します。

・平成25年11月7日（木）・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

(3) 文章中における億円単位の表示は、億円未満を四捨五入しています。

○添付資料の目次

《売上高のセグメント別情報》	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	3
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結キャッシュ・フローに関する定性的情報	5
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

《売上高のセグメント別情報》

(単位：千台、百万円)

セグメント		前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)			
		数量	金額	構成比 %	数量	金額	構成比 %	
合計	日本	—	117,587	12.9	—	108,916	10.4	
	海外	—	791,885	87.1	—	938,965	89.6	
	地域別内訳	北米	—	141,636	15.6	—	177,963	17.0
		欧州	—	103,974	11.4	—	119,143	11.4
		アジア	—	419,296	46.1	—	489,460	46.7
		その他	—	126,978	14.0	—	152,398	14.5
	計	—	909,473	100.0	—	1,047,882	100.0	
一輪車	日本	73	27,844	4.7	82	27,247	3.9	
	海外	4,448	569,936	95.3	4,391	668,332	96.1	
	地域別内訳	北米	51	30,733	5.1	54	35,286	5.1
		欧州	135	63,966	10.7	130	69,428	10.0
		アジア	3,864	393,475	65.8	3,784	462,223	66.5
		その他	398	81,761	13.7	423	101,394	14.5
	計	4,521	597,781	65.7	4,473	695,579	66.4	
マリン	日本	—	20,304	13.2	—	19,739	10.7	
	海外	—	133,679	86.8	—	165,502	89.3	
	地域別内訳	北米	—	72,179	46.9	—	95,148	51.4
		欧州	—	26,843	17.4	—	31,568	17.0
		アジア	—	8,654	5.6	—	8,843	4.8
		その他	—	26,002	16.9	—	29,941	16.1
	計	—	153,983	16.9	—	185,242	17.7	
特機	日本	—	11,436	15.7	—	11,332	13.5	
	海外	—	61,328	84.3	—	72,816	86.5	
	地域別内訳	北米	—	37,862	52.0	—	46,181	54.9
		欧州	—	11,042	15.2	—	14,435	17.2
		アジア	—	4,669	6.4	—	5,123	6.1
		その他	—	7,754	10.7	—	7,075	8.3
	計	—	72,765	8.0	—	84,148	8.0	
産業用機械・ロボット	日本	—	12,139	49.0	—	9,175	38.7	
	海外	—	12,656	51.0	—	14,547	61.3	
	地域別内訳	北米	—	858	3.5	—	1,346	5.7
		欧州	—	1,607	6.5	—	2,450	10.3
		アジア	—	10,028	40.4	—	10,613	44.7
		その他	—	161	0.6	—	136	0.6
	計	—	24,795	2.7	—	23,723	2.3	
その他	日本	—	45,862	76.3	—	41,421	70.0	
	海外	—	14,284	23.7	—	17,766	30.0	
	地域別内訳	北米	—	2	0.0	—	0	0.0
		欧州	—	515	0.9	—	1,260	2.1
		アジア	—	2,468	4.1	—	2,655	4.5
		その他	—	11,298	18.7	—	13,850	23.4
	計	—	60,147	6.7	—	59,188	5.6	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高は1兆479億円（前年同期比15.2%増加）となりました。

全事業の製品出荷台数は、第2四半期（4～6月）に引き続き第3四半期（7～9月）でも前年同期を上回り、9ヶ月累計では前年並みとなりました。売上高は、二輪車・マリン・特機事業の増加などにより増収となりました。

営業利益は、先進国では米国でマリン製品の販売が好調だったことに加え円安効果により増益、新興国ではインドネシアの販売増加やコスト削減などにより増益となり、全体では422億円（同84.9%増加）となりました。経常利益は428億円（同52.8%増加）、四半期純利益は263億円（同84.2%増加）と、それぞれ増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは米ドル97円（同18円の円安）、ユーロ127円（同25円の円安）でした。

セグメント別の概況

〔二輪車〕

二輪車事業全体では、売上高6,956億円（前年同期比16.4%増加）、営業利益61億円（同122.6%増加）となりました。

出荷台数は、北米や日本での新商品投入による増加が、欧州での総需要減少に伴う減少を補い、先進国全体では増加しました。また、新興国ではスクーター販売が好調なインドや回復傾向にあるインドネシアで増加し、タイ・ベトナムでは景気減速などにより減少しました。これらの結果、全世界の二輪車出荷台数は前年並みとなり、売上高は円安効果などにより増加しました。

営業利益は、先進国では積極的な開発費・販促費の投入や欧州構造改革費用を織り込みましたが、新興国ではインドネシアの販売増加やコスト削減などにより増益となりました。これらの結果、全体では増益となりました。

〔マリン〕

マリン事業全体では、売上高1,852億円（前年同期比20.3%増加）、営業利益245億円（同129.2%増加）となりました。

米国での船外機販売が新商品の投入効果や大型モデルの増加により好調に推移したことに加え、円安効果もあり増収・増益となりました。

〔特機〕

特機事業全体では、売上高841億円（前年同期比15.6%増加）、営業利益42億円（同57.4%増加）となりました。

ゴルフカーやスノーモビルの販売増加、レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル（ROV）投入効果及び円安効果により増収・増益となりました。

〔産業用機械・ロボット〕

産業用機械・ロボット事業全体では、売上高237億円（前年同期比4.3%減少）、営業利益26億円（同31.7%減少）となりました。

サーフェスマウンターの出荷台数は、世界的な設備投資需要の減退により減少しましたが、第3四半期（7～9月）では前年同期を上回りました。

〔その他〕

その他の事業全体では、売上高592億円（前年同期比1.6%減少）、営業利益47億円（同63.3%増加）となりました。

電動アシスト自転車の出荷台数は新商品投入効果などにより増加し、自動車用エンジンの出荷台数は減少しました。

なお、各セグメントの主要な製品は以下のとおりです。

セグメント	主要な製品
二輪車	二輪車、中間部品、海外生産用部品
マリン	船外機、ウォータービークル、ボート、プール、漁船・和船
特機	四輪バギー、レクリエーショナル・オフハイウェイ・ビークル、ゴルフカー、スノーモバイル、発電機、除雪機、汎用エンジン
産業用機械・ロボット	サーフェスマウンター、産業用ロボット、電動車イス
その他	自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプター

(参考情報)

所在地別情報（売上高には所在地間の内部売上高を含みます。）

〔日本〕

売上高4,355億円（前年同期比7.8%増加）、営業利益217億円（前年同期：営業損失26億円）となりました。

出荷台数は、米国向け船外機や電動アシスト自転車が増加し、サーフェスマウンターや自動車用エンジンが減少しました。円安効果もあり売上高は増加しました。

〔北米〕

売上高1,948億円（前年同期比25.7%増加）、営業利益27億円（同67.7%減少）となりました。

二輪車・船外機・ゴルフカーの出荷台数が増加し、円安効果もあり売上高は増加しました。

〔欧州〕

売上高1,218億円（前年同期比16.0%増加）、営業損失81億円（前年同期：営業損失21億円）となりました。

景気低迷が続いており二輪車などの出荷台数は減少したものの、売上高は円安効果により増加しました。

〔アジア〕

売上高5,304億円（前年同期比20.1%増加）、営業利益254億円（同60.1%増加）となりました。

二輪車の出荷台数は、インド・インドネシア・台湾などで増加し、タイ・ベトナムなどで減少しました。売上高は円安効果もあり増加しました。

〔その他〕

売上高1,211億円（前年同期比20.8%増加）、営業利益51億円（同32.5%増加）となりました。

二輪車の出荷台数は、アルゼンチン・コロンビア・メキシコなどで増加し、円安効果もあり売上高は増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、円安による為替換算影響などもあり、前期末比969億円増加し、1兆592億円となりました。流動資産が同624億円、固定資産が同345億円増加しました。

負債合計は、支払手形及び買掛金や短期借入金の増加などにより同519億円増加し、6,727億円となりました。

純資産合計は、四半期純利益263億円及び円安による為替換算調整勘定の変動138億円などにより同450億円増加し、3,865億円となりました。これらの結果、自己資本比率は33.1%（前期末：32.0%）、D/Eレシオ（ネット）は0.7倍（同：0.7倍）となりました。

(3) 連結キャッシュ・フローに関する定性的情報

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

税金等調整前四半期純利益416億円（前年同期：264億円）や運転資金の減少などにより、533億円のプラス（同：22億円のプラス）となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

新機種生産等の設備投資364億円（前年同期：333億円）などにより、399億円のマイナス（同：364億円のマイナス）となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

配当金の支払いなどにより、104億円のマイナス（前年同期：164億円のプラス）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のフリー・キャッシュ・フローは134億円のプラス（前年同期：341億円のマイナス）、現金及び現金同等物の四半期末残高は1,127億円（前期末比：61億円の増加）となりました。当第3四半期連結会計期間末の有利子負債は3,510億円（同：240億円の増加）となり、この中には販売金融に関する借入金が1,386億円（同：52億円の増加）含まれています。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月6日の第2四半期決算発表時に公表した予想を変更していません。

なお、通期の為替レートは、米ドル95円（前期比15円の円安）、ユーロ125円（同22円の円安）の前提です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産の減価償却方法について、従来、当社及び国内子会社においては主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より主として定額法に変更しています。

当社グループは前中期経営計画（平成22年から平成24年）の下、収益構造改革の一環として先進国の需要に合わせた国内生産体制の再編成を進めてきました。前中期経営計画の最終年度である前連結会計年度において当初予定の再編成に一定の目処がつき、現中期経営計画（平成25年から平成27年）では国内生産設備への投資はマザー機能の維持、進化を中心にする方針にしています。

このため、今後の国内生産設備は耐用年数にわたり長期安定的に稼働することが見込まれ、原価をより適切に収益に対応させる定額法が合理的と判断しました。

当該変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ2,479百万円増加しています。なお、セグメント情報に与える影響については、「3. 四半期連結財務諸表（6）セグメント情報等」に記載しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	106,462	112,244
受取手形及び売掛金	192,143	211,919
商品及び製品	153,109	171,108
仕掛品	40,438	46,602
原材料及び貯蔵品	39,880	46,309
その他	61,838	69,898
貸倒引当金	△7,074	△8,856
流動資産合計	586,797	649,226
固定資産		
有形固定資産	272,942	285,453
無形固定資産	3,940	4,585
投資その他の資産		
投資その他の資産	100,102	121,466
貸倒引当金	△1,454	△1,501
投資その他の資産合計	98,648	119,965
固定資産合計	375,531	410,004
資産合計	962,329	1,059,230
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	114,344	136,750
短期借入金	102,476	121,376
1年内返済予定の長期借入金	58,158	81,018
賞与引当金	9,230	16,302
製品保証引当金	19,952	18,851
その他の引当金	1,102	1,448
その他	85,887	82,930
流動負債合計	391,153	458,679
固定負債		
長期借入金	166,340	148,587
退職給付引当金	44,098	44,784
その他の引当金	3,854	1,381
その他	15,320	19,282
固定負債合計	229,614	214,035
負債合計	620,767	672,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,666	85,688
資本剰余金	74,582	74,603
利益剰余金	249,724	270,831
自己株式	△686	△689
株主資本合計	409,287	430,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,843	9,379
土地再評価差額金	10,982	10,978
為替換算調整勘定	△114,255	△100,490
その他の包括利益累計額合計	△101,429	△80,132
新株予約権	109	98
少数株主持分	33,595	36,114
純資産合計	341,561	386,515
負債純資産合計	962,329	1,059,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	909,473	1,047,882
売上原価	729,037	813,360
売上総利益	180,436	234,522
販売費及び一般管理費	157,631	192,353
営業利益	22,804	42,168
営業外収益		
受取利息	4,271	4,803
その他	10,888	13,652
営業外収益合計	15,159	18,455
営業外費用		
支払利息	5,089	5,035
為替差損	2,115	7,683
その他	2,713	5,060
営業外費用合計	9,918	17,778
経常利益	28,046	42,845
特別利益		
固定資産売却益	155	198
その他	—	8
特別利益合計	155	207
特別損失		
固定資産処分損	568	757
減損損失	1,056	601
その他	130	51
特別損失合計	1,755	1,410
税金等調整前四半期純利益	26,445	41,642
法人税、住民税及び事業税	12,672	15,037
法人税等調整額	△3,170	△4,441
法人税等合計	9,502	10,595
少数株主損益調整前四半期純利益	16,943	31,047
少数株主利益	2,641	4,706
四半期純利益	14,302	26,340

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,943	31,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	7,525
土地再評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	△366	13,312
持分法適用会社に対する持分相当額	46	2,472
その他の包括利益合計	△442	23,310
四半期包括利益	16,500	54,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,298	47,641
少数株主に係る四半期包括利益	3,202	6,715

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,445	41,642
減価償却費	24,913	26,612
減損損失	1,056	601
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,325	717
受取利息及び受取配当金	△4,578	△5,159
支払利息	5,089	5,035
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△33	△147
有形及び無形固定資産処分損益(△は益)	568	757
売上債権の増減額(△は増加)	△6,527	△1,623
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,171	△13,730
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,363	18,433
その他	△12,948	△6,049
小計	20,775	67,090
利息及び配当金の受取額	5,773	6,160
利息の支払額	△5,256	△5,240
法人税等の支払額	△19,081	△14,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,212	53,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△298	△298
定期預金の払戻による収入	313	394
有形及び無形固定資産の取得による支出	△33,344	△36,437
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,134	1,574
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△3,029	—
その他	△1,125	△5,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,350	△39,878
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	34,804	7,259
長期借入れによる収入	74,248	27,765
長期借入金の返済による支出	△78,718	△36,015
自己株式の増減額(△は増加)	△1	△3
配当金の支払額	△7,157	△5,237
少数株主への配当金の支払額	△6,506	△4,035
ストックオプションの行使による収入	—	32
その他	△289	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,379	△10,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,756	3,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,001	6,119
現金及び現金同等物の期首残高	133,593	106,532
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	548	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	119,139	112,651

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	産業用機械 ・ロボット	計				
売上高									
外部顧客への売上高	597,781	153,983	72,765	24,795	849,325	60,147	909,473	-	909,473
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	19,575	19,575	△19,575	-
計	597,781	153,983	72,765	24,795	849,325	79,723	929,049	△19,575	909,473
セグメント利益 (注)2	2,752	10,712	2,672	3,792	19,929	2,875	22,804	0	22,804

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプターに係る事業を含んでいます。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	産業用機械 ・ロボット	計				
売上高									
外部顧客への売上高	695,579	185,242	84,148	23,723	988,694	59,188	1,047,882	-	1,047,882
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	20,621	20,621	△20,621	-
計	695,579	185,242	84,148	23,723	988,694	79,809	1,068,504	△20,621	1,047,882
セグメント利益 (注)2	6,126	24,548	4,206	2,590	37,472	4,696	42,168	0	42,168

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプターに係る事業を含んでいます。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の減価償却の方法を主として定率法から主として定額法に変更しました。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、セグメント利益が、「二輪車」で1,127百万円、「マリン」で706百万円、「特機」で274百万円、「産業用機械・ロボット」で94百万円、「その他」で276百万円それぞれ増加しています。

(参考情報)

所在地別情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
外部顧客への 売上高	169,711	141,776	102,034	396,218	99,732	909,473	-	909,473
所在地間の 内部売上高又は 振替高	234,355	13,228	2,933	45,573	524	296,616	△296,616	-
計	404,066	155,005	104,968	441,791	100,257	1,206,090	△296,616	909,473
営業利益又は 営業損失(△)	△2,600	8,239	△2,093	15,874	3,863	23,283	△478	22,804

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア

(3) アジア …… インドネシア、ベトナム、中国、台湾、タイ、シンガポール、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、メキシコ

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
外部顧客への 売上高	162,936	177,930	117,520	469,275	120,219	1,047,882	-	1,047,882
所在地間の 内部売上高又は 振替高	272,550	16,879	4,292	61,149	886	355,758	△355,758	-
計	435,487	194,810	121,813	530,424	121,106	1,403,641	△355,758	1,047,882
営業利益又は 営業損失(△)	21,690	2,659	△8,091	25,419	5,118	46,794	△4,626	42,168

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、イタリア、ロシア、スウェーデン

(3) アジア …… インドネシア、ベトナム、台湾、タイ、中国、シンガポール、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、アルゼンチン